

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成16年7月8日(2004.7.8)

【公開番号】特開2003-227545(P2003-227545A)

【公開日】平成15年8月15日(2003.8.15)

【出願番号】特願2002-27789(P2002-27789)

【国際特許分類第7版】

F 16 F 15/04

E 04 B 1/36

E 04 H 9/02

【F I】

F 16 F 15/04 P

E 04 B 1/36 B

E 04 H 9/02 3 3 1 A

【手続補正書】

【提出日】平成15年5月27日(2003.5.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

これらの積層ゴムは鉛直方向には建物荷重を支え続ける高い剛性を持ち、水平方向には地震時に建物が大きく動ける低い剛性を持つ。これらはいずれも図6に示すように、積層ゴム1の上下端面にそれぞれ固設されたフランジ2、3を介して、上下の構造物4及び基礎面5にそれぞれ埋め込まれたベースプレート6、7などの金物にボルト8が結合されている。

このため、将来何らかの理由で積層ゴム1の交換が必要となった場合は、ボルト8をはずし、上部の構造物4を僅かに浮かすことで交換が可能である。

免震層は上部構造の剛性に比べ遙かに低い水平剛性を持つため、地震が発生しても、上部建物を水平に大きくゆっくり動かすことで地震力を低減する効果がある。

【手続補正2】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図6】

